

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院栄養部及び血液内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等が診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2021年4月1日 ～ 2022年3月31日の間に、急性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、骨髄増殖性疾患 のために虎の門病院血液内科に入院・通院し、臍帯血移植 を受けられた方

【研究課題名】

初回臍帯血移植(CBT)患者における退院時栄養状態と予後の関連

【研究の目的・背景】

《目的》

移植後退院時のより良い栄養介入方法を検討するために、患者の退院時の栄養状態と退院後経過を解析し、関連を示す。

《研究に至る背景》

当院では原則として移植後の患者全例に栄養指導を含めた栄養介入を行っている。しかし、食事摂取量が少ない状態で退院する患者は多く、予後に悪影響を与えている印象があるため、関連を解析する。

【研究期間】

2023年11月30日 ～ 2024年3月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 国会公務員共済組合連合会虎の門病院栄養部 において研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

外部への診療情報提供なし

【利用する診療情報】

診療情報： 検査データ、診療記録、性別、GVHD 発症日、移植後退院前の期間、退院時食事摂取量、体重、移植時 Performance status(PS)、再発の有無と再発するまでの期間、再入院の有無と再入院するまでの期間、再入院要因、生存期間、死亡原因

【研究代表者】

該当なし

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：栄養部 土井悦子

研究機関の長：院長 門脇 孝

【利用する者の範囲】

該当なし

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2024年2月29日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 栄養部 小清水孝彦

電話 03-3588-1111(代表)